

聴覚障害者が競う世界  
デフ陸上選手権（18～23  
日・台湾）の男子走り高  
跳びに岡山市出身の佐藤  
秀祐（平林金属）が出場  
する。社会人2年目の20  
歳は「大舞台を楽しみ、  
より高く跳びたい」と初  
の国際大会に自然体で臨  
む。

3歳ごろから耳が聞こ  
えなくなり、岡山聾学校  
に通った。中等部で競技  
を始めて独学で鍛え、高  
等部3年だった2022  
年全国障害者スポーツ大  
会で初の全国タイトルを  
獲得。翌年に連覇するな



世界デフ陸上選手権に初出場する佐藤秀祐＝シテ  
ィライトスタジアム

## 佐藤<sup>（平林金属）</sup>「結果を出す」

世界デフ陸上男子走り高跳び

18日開幕 初の国際舞台挑む

ど各大会で活躍し、国内  
ランキング2位に入って  
世界切符を手にした。  
社会人で競技を続ける  
つもりはなかったとい  
う。転機は就職活動で訪  
れた平林金属の役員面  
接。経歴を話す中で会社  
の全面バックアップと陸  
上部の立ち上げが決まっ  
た。現役を続行でき「結  
果を出して感謝を伝えたい」と練習に打ち込む。

183センチ、75キの体か  
ら繰り出す力強いジャン  
プは進化を続けている。  
今春、女子走り高跳びの  
元世界選手権代表の福本  
幸さん（47）が監督に就  
いて指導を受けるようにな  
り「地面の反発を使って  
跳ぶ感覚が分かってき  
た」と自己ベストを5センチ  
更新し、1メートル90に到達し  
た。「アドバイスはスポ  
ンジのように吸収する。  
粗削りだがまだまだ伸び  
る」と福本監督は期待す  
る。

世界で上位争いをする  
には日本デフ記録（2メートル）  
を超えるレベルが必要。  
厳しい戦いが予想される  
中、佐藤は「来秋の東京  
デフリンピック出場に向  
け、良い結果を出して弾  
みをつけたい」と強敵た  
ちに挑む。（福本尚純）